

大学等名	金沢星稜大学
プログラム名	数理・データサイエンス・AIリテラシープログラム

プログラムを構成する授業科目について

- ① 対象となる学部・学科名称 ② 教育プログラムの修了要件 学部・学科によって、修了要件は相違しない

③ 修了要件

全学部必修の共通教育科目である「MDASHリテラシー I」「MDASHリテラシー II」の2単位(2科目)を取得すること。

必要最低単位数 2 単位 履修必須の有無 令和7年度までに履修必須とする計画

- ④ 現在進行中の社会変化(第4次産業革命、Society 5.0、データ駆動型社会等)に深く寄与しているものであり、それが自らの生活と密接に結びついている」の内容を含む授業科目

授業科目	単位数	必須	1-1	1-6	授業科目	単位数	必須	1-1	1-6
MDASHリテラシー I	1	○	○	○					

- ⑤ 「社会で活用されているデータ」や「データの活用領域」は非常に広範囲であって、日常生活や社会の課題を解決する有用なツールになり得るもの」の内容を含む授業科目

授業科目	単位数	必須	1-2	1-3	授業科目	単位数	必須	1-2	1-3
MDASHリテラシー I	1	○	○	○					

- ⑥ 「様々なデータ利活用の現場におけるデータ利活用事例が示され、様々な適用領域(流通、製造、金融、サービス、インフラ、公共、ヘルスケア等)の知見と組み合わせることで価値を創出するもの」の内容を含む授業科目

授業科目	単位数	必須	1-4	1-5	授業科目	単位数	必須	1-4	1-5
MDASHリテラシー I	1	○	○						
MDASHリテラシー II	1	○		○					

- ⑦ 「活用に当たっての様々な留意事項(ELSI、個人情報、データ倫理、AI社会原則等)を考慮し、情報セキュリティや情報漏洩等、データを守る上での留意事項への理解をする」の内容を含む授業科目

授業科目	単位数	必須	3-1	3-2	授業科目	単位数	必須	3-1	3-2
MDASHリテラシー I	1	○	○	○					

⑧「実データ・実課題(学術データ等を含む)を用いた演習など、社会での実例を題材として、「データを読む、説明する、扱う」といった数理・データサイエンス・AIの基本的な活用法に関するもの」の内容を含む授業科目

授業科目	単位数	必須	2-1	2-2	2-3	授業科目	単位数	必須	2-1	2-2	2-3
MDASHリテラシー I	1	○	○								
MDASHリテラシー II	1	○	○	○	○						

⑨ 選択「4. オプション」の内容を含む授業科目

授業科目	選択項目	授業科目	選択項目

⑩ プログラムを構成する授業の内容

授業に含まれている内容・要素		講義内容
(1) 現在進行中の社会変化(第4次産業革命、Society 5.0、データ駆動型社会等)に深く寄与しているものであり、それが自らの生活と密接に結びついている	1-1	・ビッグデータ、IoT、AI、生成AI、ロボット「MDASHリテラシー I」(第1回) ・データを起点としたものの見方「MDASHリテラシー I」(第1回) ・データ量の増加、計算機の処理性能の向上、AIの非連続的進化「MDASHリテラシー I」(第1回) ・第4次産業革命、Society 5.0、データ駆動型社会「MDASHリテラシー I」(第2回)
	1-6	・AI最新技術の活用例(深層生成モデル、強化学習、転移学習、生成AIなど)「MDASHリテラシー I」(第6回) ・AI等を活用した新しいビジネスモデル(シェアリングエコノミー、商品のレコメンデーションなど)「MDASHリテラシー I」(第6回)
(2) 「社会で活用されているデータ」や「データの活用領域」は非常に広範囲であって、日常生活や社会の課題を解決する有用なツールになり得るもの	1-2	・調査データ、実験データ、人の行動ログデータ、機械の稼働ログデータなど「MDASHリテラシー I」(第3回) ・1次データ、2次データ、データのメタ化「MDASHリテラシー I」(第3回) ・データのオープン化(オープンデータ)「MDASHリテラシー I」(第3回)
	1-3	・データ・AI活用領域の広がり(生産、消費、文化活動など)「MDASHリテラシー I」(第4回)
(3) 様々なデータ利活用の現場におけるデータ活用事例が示され、様々な適用領域(流通、製造、金融、サービス、インフラ、公共、ヘルスケア等)の知見と組み合わせることで価値を創出するもの	1-4	・データ解析: 予測、グルーピング、パターン発見、最適化、モデル化とシミュレーション・データ同化など「MDASHリテラシー I」(第5回) ・データ可視化: 複合グラフ、2軸グラフ、多次元の可視化、関係性の可視化、地図上の可視化、挙動・軌跡の可視化、リアルタイム可視化など「MDASHリテラシー I」(第5回) ・特化型AIと汎用AI、今のAIで出来ることと出来ないこと、AIとビッグデータ「MDASHリテラシー I」(第5回)
	1-5	・データサイエンスのサイクル(課題抽出と定式化、データの取得・管理・加工、探索的データ解析、データ解析と推論、結果の共有・伝達、課題解決に向けた提案)「MDASHリテラシー II」(第1回)

(4) 活用に当たっての様々な留意事項(ELSI、個人情報、データ倫理、AI社会原則等)を考慮し、情報セキュリティや情報漏洩等、データを守る上での留意事項への理解をする	3-1	・倫理的・法的・社会的課題(ELSI: Ethical, Legal and Social Issues)「MDASHリテラシー I」(第7回) ・個人情報保護、EU一般データ保護規則(GDPR)、忘れられる権利、オプトアウト「MDASHリテラシー I」(第7回) ・データ倫理: データのねつ造、改ざん、盗用、プライバシー保護「MDASHリテラシー I」(第7回) ・データバイアス、アルゴリズムバイアス「MDASHリテラシー I」(第7回)
	3-2	・情報セキュリティの3要素(機密性、完全性、可用性)「MDASHリテラシー I」(第7回) ・サイバーセキュリティ「MDASHリテラシー I」(第7回)
(5) 実データ・実課題(学術データ等を含む)を用いた演習など、社会での実例を題材として、「データを読む、説明する、扱う」といった数理・データサイエンス・AIの基本的な活用法に関するもの	2-1	・データの種類(量的変数、質的変数)「MDASHリテラシー II」(第2-4回) ・データの分布(ヒストグラム)と代表値(平均値、中央値、最頻値)「MDASHリテラシー II」(第2-4回) ・代表値の性質の違い(実社会では平均値＝最頻値でないことが多い)「MDASHリテラシー II」(第2-4回) ・データのばらつき(分散、標準偏差、偏差値)、外れ値「MDASHリテラシー II」(第2-4回) ・統計情報の正しい理解(誇張表現に惑わされない)「MDASHリテラシー II」(第2-4回) ・相関と因果(相関係数、擬似相関、交絡)「MDASHリテラシー II」(第5-7回) ・観測データに含まれる誤差の扱い「MDASHリテラシー I」(第3回)
	2-2	・データ表現(棒グラフ、折線グラフ、散布図、ヒートマップ、箱ひげ図)「MDASHリテラシー II」(第5-7回) ・データの比較(条件をそろえた比較、処理の前後での比較、A/Bテスト)「MDASHリテラシー II」(第5-7回) ・不適切なグラフ表現(チャートジャンク、不必要な視覚的要素)「MDASHリテラシー II」(第2-4回)
	2-3	・データの集計(和、平均)「MDASHリテラシー II」(第2-4回) ・データの並び替え、ランキング「MDASHリテラシー II」(第2-4回) ・データ解析ツール(スプレッドシート、BIツール)「MDASHリテラシー II」(第5-7回)

⑪ プログラムの学修成果(学生等が身に付けられる能力等)

- AI・データサイエンスの必要性を説明できる。
- 社会で活用されているデータ・AI活用の事例を例示できる。
- どのような思考方法でデータを扱うか説明できる。
- データ・AIを扱う上での留意事項を説明できる。

プログラムの履修者数等の実績について

①プログラム開設年度 令和4 年度

②履修者・修了者の実績

学部・学科名称	学生数	入学定員	収容定員	令和5年度									令和4年度									令和3年度									令和2年度									令和元年度									平成30年度									履修者数合計	履修率
				履修者数			修了者数			履修者数			修了者数			履修者数			修了者数			履修者数			修了者数			履修者数			修了者数			履修者数			修了者数																						
				合計	男性	女性	合計	男性	女性	合計	男性	女性	合計	男性	女性	合計	男性	女性	合計	男性	女性	合計	男性	女性	合計	男性	女性	合計	男性	女性	合計	男性	女性	合計	男性	女性	合計	男性	女性																				
経済学部	1,885	440	1,760	367	193	174	314	159	155	269	127	142	227	97	130	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	636	36%																				
人間科学部	618	143	572	14	14	0	4	4	0	2	1	1	2	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	16	3%																					
人文学部	291	75	300	13	3	10	12	3	9	3	2	1	3	2	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	16	5%																						
				0			0			0			0			0			0			0			0			0			0			0			0	#DIV/0!																					
				0			0			0			0			0			0			0			0			0			0			0			0	#DIV/0!																					
				0			0			0			0			0			0			0			0			0			0			0			0	#DIV/0!																					
				0			0			0			0			0			0			0			0			0			0			0			0	#DIV/0!																					
				0			0			0			0			0			0			0			0			0			0			0			0	#DIV/0!																					
				0			0			0			0			0			0			0			0			0			0			0			0	#DIV/0!																					
				0			0			0			0			0			0			0			0			0			0			0			0	#DIV/0!																					
				0			0			0			0			0			0			0			0			0			0			0			0	#DIV/0!																					
				0			0			0			0			0			0			0			0			0			0			0			0	#DIV/0!																					
				0			0			0			0			0			0			0			0			0			0			0			0	#DIV/0!																					
				0			0			0			0			0			0			0			0			0			0			0			0	#DIV/0!																					
				0			0			0			0			0			0			0			0			0			0			0			0	#DIV/0!																					
				0			0			0			0			0			0			0			0			0			0			0			0	#DIV/0!																					
				0			0			0			0			0			0			0			0			0			0			0			0	#DIV/0!																					
				0			0			0			0			0			0			0			0			0			0			0			0	#DIV/0!																					
				0			0			0			0			0			0			0			0			0			0			0			0	#DIV/0!																					
				0			0			0			0			0			0			0			0			0			0			0			0	#DIV/0!																					
合 計	2,794	658	2,632	394	210	184	330	166	164	274	130	144	232	100	132	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	668	25%																					

大学等名 金沢星稜大学

教育の質・履修者数を向上させるための体制・計画について

① 全学の教員数 (常勤) 92 人 (非常勤) 70 人

② プログラムの授業を教えている教員数 1 人

③ プログラムの運営責任者

(責任者名) 井上 好人

(役職名) 副学長

④ プログラムを改善・進化させるための体制(委員会・組織等)

金沢星稜大学総合情報センター

(責任者名) 佐々木 康成

(役職名) 総合情報センター長

⑤ プログラムを改善・進化させるための体制を定める規則名称

金沢星稜大学総合情報センター規程

⑥ 体制の目的

情報教育、情報戦略、情報設備について企画・立案するとともに、必要な支援等を行うことにより、数理・データサイエンス・AI教育の全学的な推進はもとより、情報技術を活用した研究、教育活性化の推進に寄与することを目的とする。

⑦ 具体的な構成員

総合情報センター長	教養教育部	教授	佐々木 康成
経済学部	准教授	張 淼	
経済学部	准教授	牧野 耀	
経済学部	講師	佐藤 将	
経済学部	講師	呉 星辰	
人間科学部	准教授	塩田 耕平	
人間科学部	講師	佐藤 静恵	
人文学部	助教	松本 大貴	
総合情報センター	講師	山本 輝太郎	
短期大学部	教授	谷 昌 範恭	
情報システム部	部長	田辺 栄	

⑧ 履修者数・履修率の向上に向けた計画 ※様式1の「履修必須の有無」で「計画がある」としている場合は詳細について記載すること

令和4年度実績	25%	令和5年度予定	20%	令和6年度予定	100%
令和7年度予定	100%	令和8年度予定	100%	収容定員(名)	2,632
具体的な計画					
令和6年度(2024年度)より、MDASHリテラシーⅠ・Ⅱが全学部にて必修科目になっている。当該年度以降に入学したすべての学生が卒業までに本プログラムを修了する見通しである。					

⑨ 学部・学科に関係なく希望する学生全員が受講可能となるような必要な体制・取組等

＜2023年度までの入学生に対して＞ 本学は令和4(2022)年度より各授業科目のレベルから科目群のレベルまでをとおして「何が学べるか、どのような力が身につくのか」を学生に明示する方針をとっている。本教育プログラム(「数理・データサイエンス・AIリテラシー」)は全学共通教育科目群に位置づけられ、「データサイエンス教育科目」として独自の位置を占めると同時に自然系分野の「情報リテラシー」、「情報学」、「統計学」の周辺領域と有機的な連関があることを学生に示している。また、学部・学科のガイダンスではそれぞれの専門科目群と本教育プログラムがどのような学問的な繋がりがあのかを学生に示しながら適切な履修指導が行える体制をとっている。 ＜2024年度以降の入学生に対して＞ 2024年度より、全学必修科目とし、学部・学科に関係なく学生全員が受講する制度である。再履修者については事務局および学生の所属学科の各教員らが連携し、個別支援を実施している。
--

⑩ できる限り多くの学生が履修できるような具体的な周知方法・取組

＜2023年度までの入学生に対して＞ 毎年4月に実施している新入生研修にて本教育プログラムが文部科学省「数理・データサイエンスAI教育プログラム認定制度(リテラシーレベル)」の認定を予定していること、今後のデジタル社会において、数理・データサイエンス・AIを日常生活や仕事の間等で使いこなすために基礎的な素養を主体的に身に付けることを目的としていることを文書で示し、大学4年間の履修計画の中に位置づける意義の明確化に努めている。また、前年度履修済の先輩学生からの感想や学修成果を発表させる取り組みも履修ガイダンスにて行っている。 ＜2024年度以降の入学生に対して＞ 2024年度以降の入学者に対しては「MDASHリテラシーⅠ」および「MDASHリテラシーⅡ」を全学必修科目とし、学生全員が履修する制度であることを周知させている。履修ガイダンスやウェブサイト、フライヤー等で本プログラムの概要の周知を実施している。

⑪ できる限り多くの学生が履修・修得できるようなサポート体制

全学必修科目とし、学部・学科に関係なく学生全員が受講する制度である。
また、本教育プログラムは、オンデマンド型授業で実施している。この履修形態のメリットは、開講時期の期間内であれば自分のペースで何度でも反復して学習することができることであるが、また同時に、教員のサポートとして個々の学生の学修状況に合わせた個別指導が行き渡りやすいことがあげられる。本学では同プログラムの担当として3名の教員を割り当て、学修進度の把握だけではなく個別の状況にも対応して指導・サポートができる体制をとっている。

⑫ 授業時間内外で学習指導、質問を受け付ける具体的な仕組み

本教育プログラムを受講する学生は、学修支援システム(LMS)を活用し専用のオンデマンド受講システムと併用して資料を視聴している。1回の授業は複数回のステップに区切られ、それぞれのステップでディスカッションとディベートを行うためのテキストフォーラムが準備されているので、ステップごとの学習状況を把握するとともに個別の質問を受け付けこれに対応できるようになっている。またいくつかの課題はグループワークとしても課されるので、授業時間内外を問わず学生間のディスカッションを促し、これに対する教員からの適切なグループ指導も可能な仕組みになっている。

自己点検・評価について

① プログラムの自己点検・評価を行う体制(委員会・組織等)

金沢星稜大学評価部会

(責任者名) 田中 富士美

(役職名) 評価部長・副学長

② 自己点検・評価体制における意見等

自己点検・評価の視点	自己点検・評価体制における意見・結果・改善に向けた取組等
学内からの視点	
プログラムの履修・修得状況	2022年度より、「数理・データサイエンス・AIリテラシー」科目(2単位)が共通教育科目群の中に設置され、1年次学生を対象にその学修目標と授業実施方法の詳細についてのガイダンスを行い、履修希望学生の登録が行われた。開講科目の履修登録状況および修得状況は、教務課に登録されている情報によって把握しているが、同「数理・データサイエンス・AIリテラシー」科目についても、同様に教務課での把握を行うとともに、総合情報センターにおいても履修状況と単位修得状況を把握している。 当科目はオンデマンド(非同期型)形式で開講されている。2021年度より「e生活文具(iPad)」として、新入生全員にタブレット(iPad)を貸与しており、学生は本学のLMS(Learning Management System)と動画配信システム(CLEVAS)を活用して、開講期間や指定された学修期間の中で学修を進めている。また、授業担当者はこれらのシステム上で、履修者ごとの学修の進捗状況および課題・レポートに対する回答状況などの学修履歴を包括的に確認することが可能であり、全受講者の学修状況の管理を行っている。成績評価については、これらの学修履歴と課題達成状況、グループフォーラム内の発言、およびピアレビューへの参加度を加味し、総合的に行われている。
学修成果	本学が導入しているLMS(Learning Management System)および動画配信システムにおいて、本教育プログラムの学修状況と教材内の課題提出状況については履修者ごとに把握されている。プログラムの15回の授業を7つのフェーズに区切り、学修内容と学修期間ごとの目標を示すことで、オンデマンド形式においても受講者が円滑な学修を進められるように工夫されている。フェーズ毎に出される課題については、総評をフィードバックするとともに、グループワークについては受講者間でピアレビューを行い相互評価に資するように設計されている。また、受講後は授業評価アンケート調査を実施し、ポートフォリオから得られるデータを分析し学修成果の把握を行っている。これらの結果は、総合情報センターの運営委員会に報告されるとともに、評価部会にて学修成果のさらなる向上に向けた施策の検討を行っている。
学生アンケート等を通じた学生の内容の理解度	評価部会にて実施している「授業評価アンケート」によって「数理・データサイエンス・AIリテラシー」科目の理解についての学生評価を調査している。 2023年度の同アンケート結果からは、「授業の内容や自身の成長に合わせた理解ができたか」という項目について、75%が「とてもそう思う」「そう思う」と回答し、「どちらかと言うとそう思う」も含めると99%に達している。「毎度興味深い事柄が多く、満足した学びをすることができました。」「前よりもExcelがちゃんと使えるようになりました。」「毎回授業の終盤に振り返り動画がありとても親しみやすい話題が多く上がっていて理解しやすかったです。」「などのコメントも寄せられており、学生の自己評価からみる理解度も高かったことが窺える。 また、「授業の方法に工夫が見られたか」という項目について、86%が「とてもそう思う」「そう思う」と回答し、内容の理解度と共に総合的な満足度も高い結果となっている。
学生アンケート等を通じた後輩等他の学生への推奨度	「授業評価アンケート」の結果は学修支援システム(LMS)にて公開し閲覧可能としている。既修得者の受講結果を参照できるため、後輩等他の学生への推奨度を把握することができる。 2023年度の同アンケートの結果からは、「すぐくたくなる授業だった。いつでもメッセージを送れる質問ボックスなどもあると良いかもと感じた。」「動画がわかりやすくて、特に困った事なく授業を自分で進められた。」「予定の自己管理が非常に難しかったが、内容は非常に面白かった。」「メールで学習期間が始まった連絡が来たのはとても良かった。」「と、オンデマンド形式での授業が支持されていることがわかる。また、課題や宿題へのフィードバックも充実しており、「課題の添削、コメント、紹介など授業で出された課題・宿題等へのフィードバックはありましたか。」「という項目に対し69%が「とてもそう思う」「そう思う」と回答し、「どちらかと言うとそう思う」も含めると90%に達している。
全学的な履修者数、履修率向上に向けた計画の達成・進捗状況	本教育プログラムは全学部を対象とした完全オンデマンド形式の授業で開講しており、各学部のカリキュラムや時間割には依存せずに履修が可能である。履修対象となる1年次には特に新入時の履修ガイダンスで科目の説明を行い履修者増に努めている。学期ごとに履修者数、履修率を調査・分析し、その向上のための継続的な取り組みを行っている。 履修者数が経済学部偏っているが、その理由は教職課程のカリキュラム特性によるものである。すなわち、教職課程に必要な「基礎資格科目」群中「情報機器の操作」の科目として本教育プログラムが該当していない(情報系科目で該当するのは「情報リテラシー」)ためである。今後は、人間科学部および人文科学部に多い教職課程の履修学生を中心に全学的な履修推進を行っていく。(教職課程においては2025年度入学生から教職課程の「基礎資格科目」群として本教育プログラムの履修を要件として加える予定である。)教職課程履修者は一学年あたりおよそ120名いるので、同措置によって、全学的に履修者数の増加が見込まれる。

自己点検・評価の視点	自己点検・評価体制における意見・結果・改善に向けた取組等
学外からの視点	
教育プログラム修了者の進路、活躍状況、企業等の評価	本教育プログラムは2022年度に開講し、現在までのところ、本教育プログラム修了者は在学中である。今後の取組みとして、キャリアセンターと連携しながら本教育プログラム修了者に対して、学修内容をどのように活用し、どのように社会で役立てているか等、個別にヒアリング調査を実施し、その結果を今後のプログラム内容の改善に役立てる予定である。 また、2024年度以降には、本教育プログラムの単位取得者に対しオープンバッジによるプログラムの修了証明を発行することを予定している。
産業界からの視点を含めた教育プログラム内容・手法等への意見	本学は「金沢星稜大学産学地域連携ポリシー」を策定し、SDGs地域連携センターを中心として産学地域連携の機能強化を図っている。本教育プログラムによって得られた知的リソース（シーズ）と地域・自治体、企業等の課題（ニーズ）を効果的にマッチングさせた産学地域連携活動を積極的に推進している。これにより、産業界からのDX化推進の意見や要望を本教育プログラムに取り入れながら、双方に価値を生み出す「価値共創」を目指していけるであろう。
数理・データサイエンス・AIを「学ぶ楽しさ」「学ぶことの意義」を理解させること	本教育プログラムは、現代社会を取り巻く様々な問題を数理科学の知識を使って解き明かし、解決していくための手法や考え方を身につけることを目標としている。身の回りの小さな問題から社会問題まで、その背後にあるデータを捉えて科学的・論理的に解析することで従来見えなかった社会現象を捉える力を身につけることで、学ぶ楽しさや学ぶことの意義を理解させようとしている。同時にこれらのデータを素早く扱うために必要となるAI(Artificial Intelligence)の活用手法や、それを支える周辺技術についても学ぶことで、その後の応用可能性も見通しながら学修を継続していける工夫を行っている。 こうしたねらいの成果を示すエビデンスとして、「授業評価アンケート」（授業で紹介された参考文献やキーワードを使って、授業中に直接触れられていないトピックについて自発的に学ぶために図書やネット情報などを探したか）の回答を概観すれば、「様々な参考文献を読む機会を得ることができ、満足した。」、「毎回リアクションペーパーで何を学び・理解を問い、自ずとフィードバックを促すことにより、講義内容をより深く理解できた。」、「有意義な講義をありがとうございました。情報やデータを上手く活用していこうと思います。」などのコメントが寄せられている。
内容・水準を維持・向上しつつ、より「分かりやすい」授業とすること	本学においては、「新しい時代の学びスタイル」と称して大学教育のDX化を促進し、デジタル技術とAI社会に対応できる人材の育成を目指して「e生活文具(iPad)」を入学生全員に貸与している。本教育プログラムでは、リテラシーレベルのモデルカリキュラムの範囲を網羅した学習教材を用いるだけでなく、個別に所持するiPadを活用し授業水準の維持と学修方法の最適化が図られている。 さらに、本教育プログラムで培ったMDASHリテラシーを他の教養科目や学部学科の専門教育科目と関連および接続させ、先導的で独自の工夫・特色を有する教育プログラムとして深化させていく工夫も行われはじめている。そのひとつの試みとして、2024年度のカリキュラム(改正)においては、「数理・データサイエンス・AIリテラシー」と「情報リテラシー」の2科目について、大学教育のDX化および現代社会のリベラルアーツとしてのAIデータサイエンス能力の習得のためのコア科目と位置付ける予定である。

シラバス 参照

講義名	MDASHリテラシー I ①		
(副題)			
開講責任部署	金沢星稜大学		
講義開講時期	第 1 クォーター	講義区分	オンデマンド型授業
基準単位数	1	時間	16.00
代表曜日		代表時限	
校地	本校地		
学部	共通		
配当年次	1年次		
講義日	オンデマンド		
単位数	1単位		

担当教員

職種	氏名	所属
非常勤講師	◎ 河合 一彦	金沢星稜大学
専任教員	佐々木 康成	金沢星稜大学教養教育部
専任教員	二口 聡	金沢星稜大学教養教育部
専任教員	山本 輝太郎	金沢星稜大学総合情報センター

授業意図	この授業は現代社会を取り巻く様々な問題を数理工学の知識を使って解き明かし、解決していくための手法や考え方を身につけることを目標としています。身の回りの小さな問題から社会問題までを解析し、適切に扱うために必要となるAI(Artificial Intelligence)の活用手法や、それを支える周辺技術についても学んでいきましょう。 この授業で扱う内容は、文科省による「数理・データサイエンス・AI教育プログラム認定制度(リテラシーレベル)」で扱う基本分野に基づいています(通称MDASH(Mathematics, Data science, and AI Smart Higher Education))。MDASHで扱う内容は、これからの世界を生きるみなさんに文系理系といった枠を超えて求められるスキルの一つです。実際に利用されている各種の情報ツールなどを活用しながらスキルを習得していきましょう。 <MDASH-I認定> 本授業およびMDASH II をともに単位取得した場合、MDASHリテラシーレベルの認定として認定証が与えられます。
科目の具体目標	この授業では大きく分けて以下の4つを具体的な目標としています。 ・AIの概念や開発の歴史、社会への広がりについて理解できる ・AI・データサイエンスの必要性を説明できる ・社会で活用されているAI・データの事例を例示できる ・AI・データを扱う上での留意事項を説明できる
履修条件	・この授業とペアになる【MDASHリテラシーII】を履修登録してください。 ・コンピューターまたはタブレットなど動画視聴・デジタル教材を閲覧するための機材を準備してください。特に、dotCampusの操作、学生用Microsoft 365の利用ができるようにしておいてください。

授業計画表

回	担当教員／予習・復習	テーマ	目標・教科書	教室
第1回	オンデマンド資料と課題を行い授業内容を復習する。dotCampus内の課題に取り組む。	ガイダンス、AI・データサイエンスとは?	・本授業のガイダンス ・AI・データサイエンスとは何か? キーワード: 「ビッグデータ」「IoT」「AI」	オンデマンド型授業
第2回	オンデマンド資料と課題を行い授業内容を復習する。dotCampus内の課題に取り組む。	社会で起きている変化	・デジタル技術の発展 ・社会の大きな変化 キーワード: 「DX」「Society5.0」「Industrie4.0」 ・デジタルビジネスの創造	オンデマンド型授業
第3回	オンデマンド資料と課題を行い授業内容を復習する。dotCampus内の課題に取り組む。	社会で活用されているデータ	・さまざまなデータ ・データの分類や構造 ・利用可能なデータ キーワード: 「調査データ／実験データ」「一次データ／二次データ」「オープンデータ」	オンデマンド型授業
第4回	オンデマンド資料と課題を行い授業内容を復習する。dotCampus内の課題に取り組む。	データ・AIの活用領域	・AIとはなにか? ・AI開発の歴史 ・各分野におけるAI活用 キーワード: 「データ・AI活用領域の広がり(生産、消費、文化活動など)」 「判断支援」	オンデマンド型授業
第5回	オンデマンド資料と課題を行い授業内容を復習する。dotCampus内の課題に取り組む。	データ・AI利活用のための技術	・AIの学習のしくみと方法 ・AIの課題や限界 ・人間社会とAI キーワード: 「特化型AI／汎用AI」「今のAIの得手不得手」「予測」「グルーピング」「パターン発見」	オンデマンド型授業
第6回	オンデマンド資料と課題を行い授業内容を復習する。dotCampus内の課題に取り組む。	データ・AI利活用の動向	・実社会におけるデータ・AIがどのようにに利活用 ・利活用によって生まれるビジネス領域 キーワード: 「AIを活用したビジネスモデル(シェアリングエコノミーなど)」「AI最新技術の活用例」	オンデマンド型授業
第7回	オンデマンド資料と課題を行い授業内容を復習する。dotCampus内の課題に取り組む。	データ・AIを扱う上での留意事項／データを守る上での留意事項	・データ・AIを扱う上での留意事項として ・データを守る上での留意事項として キーワード: 「ELSI」「忘れられる権利」「オプトイン／オプトアウト」「情報セキュリティ(機密性、完全性、可用性)」「サイバー攻撃」	オンデマンド型授業
第8回	オンデマンド資料と課題を行い授業内容を復習する。dotCampus内の課題に取り組む。	まとめ	・全体の振り返り ・星稜におけるデータ活用事例を考える	オンデマンド型授業

成績評価 1 (方法・割合・留意事項) 授業内の教材学習状況と課題達成状況 (70%)

成績評価2（方法・割合・留意事項）	グループフォーラム内の発言やピアレビューへの参加度（30%）
成績評価のフィードバック	オンデマンド教材内の課題は自動採点され提出状況が確認できます。 レポート課題などについては適宜内容をフィードバックします。
留意事項	本授業はdotCampusをメインとし、情報演習室のコンピューターやe生活文具（iPad）などを利用した演習課題を行います。
教科書・参考書	使用しません。 授業資料は基本的にdotCampus上で適宜公開します。 担当教員によって、各種データ分析用のソフトウェアを使用する場合があります。
事前事後学修の内容	dotCampusに公開された資料を視聴しながら、次回までの宿題として提示されるふりかえり課題を行なってください。
アクティブ・ラーニングの要素	学習の進行に合わせてオンラインディスカッション（フォーラム）やピアレビューを行います。 個人で取った授業メモや個人ワークを他の受講生の意見と比較して理解度を深めてください。
科目ナンバリング	AL411D11
メールアドレス	kazu.kawai123@gmail.com

[ウィンドウを閉じる](#)

シラバス参照

講義名	MDASHリテラシーⅡ①		
(副題)			
開講責任部署	金沢星稜大学		
講義開講時期	第2クォーター	講義区分	オンデマンド型授業
基準単位数	1	時間	16.00
代表曜日		代表時限	
校地	本校地		
学部	共通		
配当年次	1年次		
講義日	オンデマンド		
単位数	1単位		

担当教員

職種	氏名	所属
専任教員	◎ 二 〇 聡	金沢星稜大学教養教育部
専任教員	佐々木 康成	金沢星稜大学教養教育部
専任教員	山本 舜太郎	金沢星稜大学総合情報センター

授業意図	この授業は現代社会を取り巻く様々な問題を数理科の知識を使って解き明かし、解決していくための手法や考え方を身につけることを目標としています。身の回りの小さな問題から社会問題を解決するための手掛かりになるデータの見方や扱い方などについて、科学的・実践的に捉えるための基本的な内容を学習します。 この授業で扱う内容は、文科省による「数理・データサイエンス・AI教育プログラム認定制度（リテラシーレベル）」で扱う基本分野に基づいています（通称MDASH（Mathematics, Data science, and AI Smart Higher Education））。MDASHで扱う内容は、これからの世界を生きるみなさんに文系理系といった枠を超えて求められるスキルの一つです。実際に利用されている各種の情報ツールなどを活用しながらスキルを習得していきましょう。 ＜MDASH-L認定＞ 本授業およびMDASHⅡをともに単位取得した場合、MDASHリテラシーレベルの認定として認定証が与えられます。
科目の具体目標	この授業では大きく分けて以下の4つを具体的な目標としています。 ・AIの概念や開発の歴史、社会への広がりについて理解できる ・AI・データサイエンスの必要性を説明できる ・社会で活用されているAI・データの事例を例示できる ・AI・データを扱う上での留意事項を説明できる
履修条件	・【MDASHリテラシーⅠを履修済】であることが履修条件です。 ・コンピューターまたはタブレットなど動画視聴・デジタル教材を閲覧するための機材を準備してください。特に、dotCampusの操作、学生用Microsoft 365の利用ができるようにしておいてください。

授業計画表

回	担当教員／予習・復習	テーマ	目標・教科書	教室
第1回	二 〇 聡 オンデマンド資料と課題を行い授業内容を復習する。dotCampus内の課題に取り組む。	ガイダンス、データ・AI利活用の現場	・本授業のガイダンス ・データ分析の基本的な考え方 ・データサイエンスのサイクル キーワード：「データの取得・管理・加工」 「データ解析と推論」	オンデマンド型授業
第2回	二 〇 聡 オンデマンド資料と課題を行い授業内容を復習する。dotCampus内の課題に取り組む。	データリテラシー①（データを読む／データを説明する）	・データの種類 ・代表値とデータのばらつき ・データの表現 演習：学力偏差値の算出、相関分析・散布図 キーワード：「データの分布と代表値」「分散、標準偏差」「因果と相関」「散布図」「不適切なグラフ表現」「データの集計」「データ解析ツール」	オンデマンド型授業
第3回	二 〇 聡 オンデマンド資料と課題を行い授業内容を復習する。dotCampus内の課題に取り組む。	データリテラシー②（データを読む／データを説明する）	・データの種類 ・代表値とデータのばらつき ・データの表現 演習：学力偏差値の算出、相関分析・散布図 キーワード：「データの分布と代表値」「分散、標準偏差」「因果と相関」「散布図」「不適切なグラフ表現」「データの集計」「データ解析ツール」	オンデマンド型授業
第4回	二 〇 聡 オンデマンド資料と課題を行い授業内容を復習する。dotCampus内の課題に取り組む。	データリテラシー③（データを読む／データを説明する）	・データの種類 ・代表値とデータのばらつき ・データの表現 演習：学力偏差値の算出、相関分析・散布図 キーワード：「データの分布と代表値」「分散、標準偏差」「因果と相関」「散布図」「不適切なグラフ表現」「データの集計」「データ解析ツール」	オンデマンド型授業
第5回	二 〇 聡 オンデマンド資料と課題を行い授業内容を復習する。dotCampus内の課題に取り組む。	データリテラシー④（データを読む／データを扱う）	・データの収集 ・データの分析 ・データの読解 演習：データクレンジング、統計的検定 キーワード：「母集団と標本抽出」「ランダム化比較試験」「自然実験」「疑似相関」「バイアス」「欠損データ」「データの並び替え」	オンデマンド型授業
第6回	二 〇 聡 オンデマンド資料と課題を行い授業内容を復習する。dotCampus内の課題に取り組む。	データリテラシー⑤（データを読む／データを扱う）	・データの収集 ・データの分析 ・データの読解 演習：データクレンジング、統計的検定 キーワード：「母集団と標本抽出」「ランダム化比較試験」「自然実験」「疑似相関」「バイアス」「欠損データ」「データの並び替え」	オンデマンド型授業
第7回	二 〇 聡 オンデマンド資料と課題を行い授業内容を復習する。dotCampus内の課題に取り組む。	データリテラシー⑥（データを読む／データを扱う）	・データの収集 ・データの分析 ・データの読解 演習：データクレンジング、統計的検定	オンデマンド型授業

			キーワード：「母集団と標本抽出」「ランダム化比較試験」「自然実験」「疑似相関」「バイアス」「欠損データ」「データの並び替え」	
第8回	二口 聡 オンデマンド資料と課題を行い授業内容を復習する。dotCampus内の課題に取り組む。	まとめ	- 全体の振り返り - 星陵におけるデータ活用事例を考える	オンデマンド型授業
成績評価1（方法・割合・留意事項）		授業内の教材学習状況と課題達成状況（70%）		
成績評価2（方法・割合・留意事項）		グループフォーラム内の発言やピアレビューへの参加度（30%）		
成績評価のフィードバック		オンデマンド教材内の課題は自動採点され提出状況が確認できます。レポート課題などについては適宜内容をフィードバックします。		
留意事項		本授業はdotCampusをメインとし、情報演習室のコンピューターやe生活文具（iPad）などを利用した演習課題を行います。		
教科書・参考書		使用しません。 授業資料は基本的にdotCampus上で適宜公開します。 担当教員によって、各種データ分析用のソフトウェアを使用する場合があります。		
事前事後学習の内容		dotCampusに公開された資料を視聴しながら、次回までの宿題として提示されるふりかえり課題を行ってください。		
アクティブ・ラーニングの要素		学習の進行に合わせてオンラインディスカッション（フォーラム）やピアレビューを行います。個人で取った授業メモや個人ワークを他の受講生の意見と比較して理解度を深めてください。		
科目ナンバリング		AL412B11		
メールアドレス		5000012036@st.seiryu-u.ac.jp		

[ウィンドウを閉じる](#)

別表Ⅱ〔授業科目及び単位数〕

経済学部 共通教育科目

【教養教育科目】

区分	科目名	単位	備考
必修	教養ゼミナールA	1	
	教養ゼミナールB	1	
	教養ゼミナールC	1	
	教養ゼミナールD	1	
	情報リテラシーⅠ	1	
	MDASHリテラシーⅠ	1	
	MDASHリテラシーⅡ	1	
	College EnglishⅠ	2	
	College EnglishⅡ	2	母語となる語学科目は履修できない。
	日本語上級ⅠA	2	
	日本語上級ⅠB	2	
選択	教養の門	1	
	教養の世界	1	
	教養ラボ	1	
	総合領域A	1	
	総合領域B	1	
	総合領域C	1	
	情報リテラシーⅡ	1	
	情報学Ⅰ	1	
	情報学ⅡA	1	
	情報学ⅡB	1	
	哲学Ⅰ	1	
	哲学Ⅱ	1	
	哲学Ⅲ	1	
	論理学Ⅰ	1	
	論理学Ⅱ	1	
	心理学Ⅰ	1	
	心理学Ⅱ	1	
	心理学Ⅲ	1	
	倫理学Ⅰ	1	
	倫理学Ⅱ	1	
	倫理学Ⅲ	1	
	宗教学Ⅰ	1	
	宗教学Ⅱ	1	
	歴史学Ⅰ	1	
	歴史学Ⅱ	1	
	人文地理学Ⅰ	1	
	人文地理学Ⅱ	1	
	海外の文化と社会Ⅰ	1	
	海外の文化と社会Ⅱ	1	
	海外の文化と社会Ⅲ	1	
	政治学Ⅰ	1	
	政治学Ⅱ	1	
	日本国憲法Ⅰ	1	
	日本国憲法Ⅱ	1	
	社会学A	1	
	社会学B	1	
	異文化コミュニケーション論Ⅰ	1	
	異文化コミュニケーション論Ⅱ	1	
	メディア論	1	
	教育学	1	
	文化人類学Ⅰ	1	
	文化人類学Ⅱ	1	
	自然科学概論Ⅰ	1	
	自然科学概論Ⅱ	1	
	教養数学A	1	
	教養数学B	1	
	統計学Ⅰ	1	
	統計学Ⅱ	1	
	統計学Ⅲ	1	
	自然地理学Ⅰ	1	
	自然地理学Ⅱ	1	
	環境学Ⅰ	1	
	環境学Ⅱ	1	
	生活科学	1	
	美学	1	
	デザイン学A	1	
	デザイン学B	1	
	ウェルビーイングと健康A	1	
	ウェルビーイングと健康B	1	
	スポーツとレジリエンスA	1	
	スポーツとレジリエンスB	1	
	健康・スポーツ科学論A	1	
	健康・スポーツ科学論B	1	
	言語学	1	
	近声学入門	1	
	コミュニケーション論Ⅰ	1	
	コミュニケーション論Ⅱ	1	
	日本語上級ⅠC	2	
	日本語上級ⅠD	2	
	日本語上級ⅡA	2	
	日本語上級ⅡB	2	
	日本語リテラシーA	2	
	日本語リテラシーB	2	
	中国語Ⅰ	2	母語となる語学科目は履修できない。
	中国語Ⅱ	2	
	韓国語Ⅰ	2	
	韓国語Ⅱ	2	
	EnglishⅠA	2	
	EnglishⅠB	2	
	EnglishⅠC	2	
	EnglishⅠD	2	
	EnglishⅡA	2	
	EnglishⅡB	2	
	資格英語Ⅰ	2	
	資格英語Ⅱ	2	
	ドイツ語Ⅰ	2	
	ドイツ語Ⅱ	2	
	フランス語Ⅰ	2	
	フランス語Ⅱ	2	
	スペイン語Ⅰ	2	
	スペイン語Ⅱ	2	
	ロシア語Ⅰ	2	
	ロシア語Ⅱ	2	
	日本文学A	1	
	日本文学B	1	
	英米文学Ⅰ	1	
	英米文学Ⅱ	1	
	英米文学Ⅲ	1	
	海外研修Ⅰ	1	
	海外研修Ⅱ	1	
	海外研修Ⅲ	1	
	海外研修Ⅳ	1	
	海外研修Ⅴ	1	
	海外研修Ⅵ	1	
	海外研修Ⅶ	1	
	海外研修Ⅷ	1	
	海外研修Ⅸ	1	
	海外研修Ⅹ	1	
他学部科目			各年度の当初に対象科目を教授会にて指定
単位互換科目			

【キャリア教育科目】

区分	科目名	単位	備考
必修	キャリア入門Ⅰ	1	
	キャリア入門Ⅱ	1	
選択	キャリアプランニングⅠ	1	
	キャリアプランニングⅡ	1	
	チームビルディング	2	
	プレゼンテーションスキルズ	2	
	業界課題研究Ⅰ	1	
	業界課題研究Ⅱ	1	
	キャリア実践演習	1	

【教職科目】

区分	科目名	単位	備考
自由科目	教職入門（中等）	2	
	教育学概論Ⅰ（中等）	1	
	教育学概論Ⅱ（中等）	1	
	特別支援教育（中等）	2	
	教育心理学Ⅰ（中等）	1	
	教育心理学Ⅱ（中等）	1	
	生徒・進路指導論（中等）	2	
	道徳教育の理論と方法（中等）	2	
	教育相談の理論と方法Ⅰ（中等）	1	
	教育相談の理論と方法Ⅱ（中等）	1	
	教育社会学Ⅰ（中等）	1	卒業に必要な単位数に含まない。
	教育社会学Ⅱ（中等）	1	
	介護等体験（事前・事後の指導を含む）	2	
	特別活動及び総合的な学習の時間の指導法（中等）	2	
	教育課程論Ⅰ（中等）	1	
	教育課程論Ⅱ（中等）	1	
	教育方法論（中等）	2	
	情報教育の理論と方法Ⅰ（中等）	1	
	情報教育の理論と方法Ⅱ（中等）	1	
	中等教育実習・事前事後の指導	1	
	中等教育実習Ⅰ	2	
	中等教育実習Ⅱ	2	
	教職実践演習（中等）	2	

別表Ⅱ【授業科目及び単位数】

人間科学部 スポーツ学科 共通教育科目
【教養教育科目】

区分	科目名	単位	備考
必修	情報リテラシーⅠ	1	
	MDASHリテラシーⅠ	1	
	MDASHリテラシーⅡ	1	
	College EnglishⅠ	2	
	College EnglishⅡ	2	
	日本語上級ⅠA	2	母語となる語学科目は履修できない。
	日本語上級ⅠB	2	
選択	教養の門	1	
	教養の世界	1	
	教養ラボ	1	
	総合領域A	1	
	総合領域B	1	
	総合領域C	1	
	情報リテラシーⅡ	1	
	情報学Ⅰ	1	
	情報学ⅡA	1	
	情報学ⅡB	1	
	哲学Ⅰ	1	
	哲学Ⅱ	1	
	哲学Ⅲ	1	
	論理学Ⅰ	1	
	論理学Ⅱ	1	
	心理学Ⅰ	1	
	心理学Ⅱ	1	
	心理学Ⅲ	1	
	倫理学Ⅰ	1	
	倫理学Ⅱ	1	
	倫理学Ⅲ	1	
	宗教学Ⅰ	1	
	宗教学Ⅱ	1	
	歴史学Ⅰ	1	
	歴史学Ⅱ	1	
	人文地理学Ⅰ	1	
	人文地理学Ⅱ	1	
	海外の文化と社会Ⅰ	1	
	海外の文化と社会Ⅱ	1	
	海外の社会と文化Ⅲ	1	
	政治学Ⅰ	1	
	政治学Ⅱ	1	
	法学	1	
	日本国憲法Ⅰ	1	
	日本国憲法Ⅱ	1	
	経済学	1	
	経営学	1	
	社会学A	1	
	社会学B	1	
	異文化コミュニケーション論Ⅰ	1	
	異文化コミュニケーション論Ⅱ	1	
	メディア論	1	
	教育学	1	
	文化人類学Ⅰ	1	
	文化人類学Ⅱ	1	
	自然科学概論Ⅰ	1	
	自然科学概論Ⅱ	1	
	教養数学A	1	
	教養数学B	1	
	統計学Ⅰ	1	
	統計学Ⅱ	1	
	統計学Ⅲ	1	
	自然地理学Ⅰ	1	
	自然地理学Ⅱ	1	
	環境学Ⅰ	1	
	環境学Ⅱ	1	
	生活科学	1	
	美学	1	
	デザイン学A	1	
	デザイン学B	1	
	言語学	1	
	音声学入門	1	
	コミュニケーション論Ⅰ	1	
	コミュニケーション論Ⅱ	1	
	日本語上級ⅠC	2	母語となる語学科目は履修できない。
	日本語上級ⅠD	2	
	日本語上級ⅡA	2	
	日本語上級ⅡB	2	
	日本語リテラシーA	2	
	日本語リテラシーB	2	
	中国語Ⅰ	2	母語となる語学科目は履修できない。
	中国語Ⅱ	2	
	韓国語Ⅰ	2	
	韓国語Ⅱ	2	
	EnglishⅠA	2	
	EnglishⅠB	2	
	EnglishⅠC	2	
	EnglishⅠD	2	
	EnglishⅡA	2	
	EnglishⅡB	2	
	資格英語Ⅰ	2	
	資格英語Ⅱ	2	
	ドイツ語Ⅰ	2	
	ドイツ語Ⅱ	2	
	フランス語Ⅰ	2	
	フランス語Ⅱ	2	
	スペイン語Ⅰ	2	
	スペイン語Ⅱ	2	
	ロシア語Ⅰ	2	
	ロシア語Ⅱ	2	
	日本文学A	1	
	日本文学B	1	
	英米文学Ⅰ	1	
	英米文学Ⅱ	1	
	英米文学Ⅲ	1	
	海外研修Ⅰ	1	
	海外研修Ⅱ	1	
	海外研修Ⅲ	1	
	海外研修Ⅳ	1	
	海外研修Ⅴ	1	
	海外研修Ⅵ	1	
	海外研修Ⅶ	1	
	海外研修Ⅷ	1	
	海外研修Ⅸ	1	
	海外研修Ⅹ	1	
他学部科目			各年度の当初に対象科目を教授会にて指定
単位互換科目			

【キャリア教育科目】

区分	科目名	単位	備考
選択	キャリア入門Ⅰ	1	
	キャリア入門Ⅱ	1	
	キャリアプランニングⅠ	1	
	キャリアプランニングⅡ	1	
	チームビルディング	2	
	プレゼンテーションスキルズ	2	
	業界課題研究Ⅰ	1	
	業界課題研究Ⅱ	1	
	キャリア実践演習	1	

【教職科目】

区分	科目名	単位	備考
選択	教職入門（中等）	2	
	教育学概論Ⅰ（中等）	1	
	教育学概論Ⅱ（中等）	1	
	特別支援教育(中等)	2	
	教育心理学Ⅰ(中等)	1	
	教育心理学Ⅱ(中等)	1	
	生徒・進路指導論(中等)	2	
	道徳教育の理論と方法(中等)	2	
	教育相談の理論と方法Ⅰ(中等)	1	
	教育相談の理論と方法Ⅱ(中等)	1	
	教育社会学Ⅰ（中等）	1	
	教育社会学Ⅱ（中等）	1	
	介護等体験（事前・事後の指導を含む）	2	
	特別活動及び総合的な学習の時間の指導法（中等）	2	
	教育課程論Ⅰ（中等）	1	
	教育課程論Ⅱ（中等）	1	
	教育方法論(中等)	2	
	情報教育の理論と方法Ⅰ(中等)	1	
	情報教育の理論と方法Ⅱ(中等)	1	
	中等教育実習・事前事後の指導	1	
	中等教育実習Ⅰ	2	
	中等教育実習Ⅱ	2	
	教職実践演習(中等)	2	

別表Ⅱ【授業科目及び単位数】

人間科学部 こども学科 共通教育科目

【教養教育科目】

区分	科目名	単位	備考
必修	情報リテラシーⅠ	1	
	MDASHリテラシーⅠ	1	
	MDASHリテラシーⅡ	1	
	College EnglishⅠ	2	母語となる語学科目は履修できない。
	College EnglishⅡ	2	
	日本語上級ⅠA	2	
	日本語上級ⅠB	2	
選択	教養の門	1	
	教養の世界	1	
	教養ラボ	1	
	総合領域A	1	
	総合領域B	1	
	総合領域C	1	
	情報リテラシーⅡ	1	
	情報学Ⅰ	1	
	情報学ⅡA	1	
	情報学ⅡB	1	
	哲学Ⅰ	1	
	哲学Ⅱ	1	
	哲学Ⅲ	1	
	論理学Ⅰ	1	
	論理学Ⅱ	1	
	心理学Ⅰ	1	
	心理学Ⅱ	1	
	心理学Ⅲ	1	
	倫理学Ⅰ	1	
	倫理学Ⅱ	1	
	倫理学Ⅲ	1	
	宗教学Ⅰ	1	
	宗教学Ⅱ	1	
	歴史学Ⅰ	1	
	歴史学Ⅱ	1	
	人文地理学Ⅰ	1	
	人文地理学Ⅱ	1	
	海外の文化と社会Ⅰ	1	
	海外の文化と社会Ⅱ	1	
	海外の文化と社会Ⅲ	1	
	政治学Ⅰ	1	
	政治学Ⅱ	1	
	法学	1	
	日本国憲法Ⅰ	1	
	日本国憲法Ⅱ	1	
	経済学	1	
	経営学	1	
	社会学A	1	
	社会学B	1	
	異文化コミュニケーション論Ⅰ	1	
	異文化コミュニケーション論Ⅱ	1	
	メディア論	1	
	教育学	1	
	文化人類学Ⅰ	1	
	文化人類学Ⅱ	1	
	自然科学概論Ⅰ	1	
	自然科学概論Ⅱ	1	
	教養数学A	1	
	教養数学B	1	
	統計学Ⅰ	1	
	統計学Ⅱ	1	
	統計学Ⅲ	1	
	自然地理学Ⅰ	1	
	自然地理学Ⅱ	1	
	環境学Ⅰ	1	
	環境学Ⅱ	1	
	生活科学	1	
	実学	1	
	デザイン学A	1	
	デザイン学B	1	
	ウェルビーイングと健康A	1	
	ウェルビーイングと健康B	1	
	スポーツとレジリエンスA	1	
	スポーツとレジリエンスB	1	
	健康・スポーツ科学論A	1	
	健康・スポーツ科学論B	1	
	言語学	1	
	音声学入門	1	
	コミュニケーション論Ⅰ	1	
	コミュニケーション論Ⅱ	1	
	日本語上級ⅠC	2	母語となる語学科目は履修できない。
	日本語上級ⅠD	2	
	日本語上級ⅡA	2	
	日本語上級ⅡB	2	
	日本語リテラシーA	2	
	日本語リテラシーB	2	
	中国語Ⅰ	2	母語となる語学科目は履修できない。
	中国語Ⅱ	2	
	韓国語Ⅰ	2	
	韓国語Ⅱ	2	
	EnglishⅠA	2	
	EnglishⅠB	2	
	EnglishⅠC	2	
	EnglishⅠD	2	
	EnglishⅡA	2	
	EnglishⅡB	2	
	資格英語Ⅰ	2	
	資格英語Ⅱ	2	
	ドイツ語Ⅰ	2	
	ドイツ語Ⅱ	2	
	フランス語Ⅰ	2	
	フランス語Ⅱ	2	
	スペイン語Ⅰ	2	
	スペイン語Ⅱ	2	
	ロシア語Ⅰ	2	
	ロシア語Ⅱ	2	
	日本文学A	1	
	日本文学B	1	
	英米文学Ⅰ	1	
	英米文学Ⅱ	1	
	英米文学Ⅲ	1	
	海外研修Ⅰ	1	
	海外研修Ⅱ	1	
	海外研修Ⅲ	1	
	海外研修Ⅳ	1	
	海外研修Ⅴ	1	
	海外研修Ⅵ	1	
	海外研修Ⅶ	1	
	海外研修Ⅷ	1	
	海外研修Ⅸ	1	
	海外研修Ⅹ	1	
他学部科目			各年度の当初に対象科目を教授会にて指定
単位互換科目			

【キャリア教育科目】

区分	科目名	単位	備考
選択	キャリア入門Ⅰ	1	
	キャリア入門Ⅱ	1	
	キャリアプランニングⅠ	1	
	キャリアプランニングⅡ	1	
	チームビルディング	2	
	プレゼンテーションスキルズ	2	
	業界課題研究Ⅰ	1	
	業界課題研究Ⅱ	1	
	キャリア実践演習	1	

【教職科目】

区分	科目名	単位	備考
選択	教職入門（中等）	2	
	教育学概論Ⅰ（中等）	1	
	教育学概論Ⅱ（中等）	1	
	特別支援教育（中等）	2	
	教育心理学Ⅰ（中等）	1	
	教育心理学Ⅱ（中等）	1	
	生徒・進路指導論（中等）	2	
	道徳教育の理論と方法（中等）	2	
	教育相談の理論と方法Ⅰ（中等）	1	
	教育相談の理論と方法Ⅱ（中等）	1	
	教育社会学Ⅰ（中等）	1	
	教育社会学Ⅱ（中等）	1	
	介護等体験（事前・事後の指導を含む）	2	
	特別活動及び総合的な学習の時間の指導法（中等）	2	
	教育課程論Ⅰ（中等）	1	
	教育課程論Ⅱ（中等）	1	
	教育方法論（中等）	2	
	情報教育の理論と方法Ⅰ（中等）	1	
	情報教育の理論と方法Ⅱ（中等）	1	
	中等教育実習・事前事後の指導	1	
	中等教育実習Ⅰ	2	
	中等教育実習Ⅱ	2	
	教職実践演習（中等）	2	

別表Ⅱ（授業科目及び単位数）

人文学部 共通教育科目

【教養教育科目】

区分	科目名	単位	備考
必修	教養ゼミナールA	1	
	教養ゼミナールB	1	
	情報リテラシーⅠ	1	
	MDASHリテラシーⅠ	1	
	MDASHリテラシーⅡ	1	
	日本語上級ⅠA	2	母語となる語学科目は履修できない。
	日本語上級ⅠB	2	
選択	教養の門	1	
	教養の世界	1	
	教養ラボ	1	
	総合領域A	1	
	総合領域B	1	
	総合領域C	1	
	情報リテラシーⅡ	1	
	情報学Ⅰ	1	
	情報学ⅡA	1	
	情報学ⅡB	1	
	哲学Ⅰ	1	
	哲学Ⅱ	1	
	哲学Ⅲ	1	
	論理学Ⅰ	1	
	論理学Ⅱ	1	
	心理学Ⅰ	1	
	心理学Ⅱ	1	
	心理学Ⅲ	1	
	倫理学Ⅰ	1	
	倫理学Ⅱ	1	
	倫理学Ⅲ	1	
	宗教学Ⅰ	1	
	宗教学Ⅱ	1	
	歴史学Ⅰ	1	
	歴史学Ⅱ	1	
	人文地理学Ⅰ	1	
	人文地理学Ⅱ	1	
	海外の文化と社会Ⅰ	1	
	海外の文化と社会Ⅱ	1	
	海外の文化と社会Ⅲ	1	
	政治学Ⅰ	1	
	政治学Ⅱ	1	
	法学	1	
	日本国憲法Ⅰ	1	
	日本国憲法Ⅱ	1	
	経済学	1	
	経営学	1	
	社会学A	1	
	社会学B	1	
	異文化コミュニケーション論Ⅰ	1	
	異文化コミュニケーション論Ⅱ	1	
	メディア論	1	
	教育学	1	
	文化人類学Ⅰ	1	
	文化人類学Ⅱ	1	
	自然科学概論Ⅰ	1	
	自然科学概論Ⅱ	1	
	教養数学A	1	
	教養数学B	1	
	統計学Ⅰ	1	
	統計学Ⅱ	1	
	統計学Ⅲ	1	
	自然地理学Ⅰ	1	
	自然地理学Ⅱ	1	
	環境学Ⅰ	1	
	環境学Ⅱ	1	
	生活科学	1	
	数学	1	
	デザイン学A	1	
	デザイン学B	1	
	ウェルビーイングと健康A	1	
	ウェルビーイングと健康B	1	
	スポーツとレジリエンスA	1	
	スポーツとレジリエンスB	1	
	健康・スポーツ科学論A	1	
	健康・スポーツ科学論B	1	
	言語学	1	
	音声学入門	1	
	コミュニケーション論Ⅰ	1	
	コミュニケーション論Ⅱ	1	
	日本語上級ⅠC	2	母語となる語学科目は履修できない。
	日本語上級ⅠD	2	
	日本語上級ⅡA	2	
	日本語上級ⅡB	2	
	日本語リテラシーA	2	母語となる語学科目は履修できない。
	日本語リテラシーB	2	
	中国語Ⅰ	2	
	中国語Ⅱ	2	
	韓国語Ⅰ	2	
	韓国語Ⅱ	2	
	ドイツ語Ⅰ	2	
	ドイツ語Ⅱ	2	
	フランス語Ⅰ	2	
	フランス語Ⅱ	2	
	スペイン語Ⅰ	2	
	スペイン語Ⅱ	2	
	ロシア語Ⅰ	2	
	ロシア語Ⅱ	2	
	日本文学A	1	
	日本文学B	1	
	英米文学Ⅰ	1	
	英米文学Ⅱ	1	
	英米文学Ⅲ	1	
	海外研修Ⅰ	1	
	海外研修Ⅱ	1	
	海外研修Ⅲ	1	
	海外研修Ⅳ	1	
	海外研修Ⅴ	1	
	海外研修Ⅵ	1	
	海外研修Ⅶ	1	
	海外研修Ⅷ	1	
	海外研修Ⅸ	1	
	海外研修Ⅹ	1	
他学部科目			各年度の当初に対象科目を教授会にて指定。
単位互換科目			

【キャリア教育科目】

区分	科目名	単位	備考
選択	キャリア入門Ⅰ	1	
	キャリア入門Ⅱ	1	
	キャリアプランニングⅠ	1	
	キャリアプランニングⅡ	1	
	チームビルディング	2	
	プレゼンテーションスキルズ	2	
	業界課題研究Ⅰ	1	
	業界課題研究Ⅱ	1	
	キャリア実践演習	1	

【教職科目】

区分	科目名(日本語表記)	単位	備考
自由科目	教職入門(中等)	2	卒業に必要な単位数に含まない。
	教育学概論Ⅰ(中等)	1	
	教育学概論Ⅱ(中等)	1	
	特別支援教育(中等)	2	
	教育心理学Ⅰ(中等)	1	
	教育心理学Ⅱ(中等)	1	
	生徒・進路指導論(中等)	2	
	道徳教育の理論と方法(中等)	2	
	教育相談の理論と方法Ⅰ(中等)	1	
	教育相談の理論と方法Ⅱ(中等)	1	
	教育社会学Ⅰ(中等)	1	
	教育社会学Ⅱ(中等)	1	
	介護福祉概論(事前・事後の指導を含む)	2	
	初級音楽入門(総合的な学習の時間)の音楽分(中等)	2	
	教育課程論Ⅰ(中等)	1	
	教育課程論Ⅱ(中等)	1	
	教育方法論(中等)	2	
	情報教育の理論と方法Ⅰ(中等)	1	
	情報教育の理論と方法Ⅱ(中等)	1	
	中等教育実習・事前事後の指導	1	
	中等教育実習Ⅰ	2	
	中等教育実習Ⅱ	2	
	教職実践演習(中等)	2	

別表Ⅱ〔授業科目及び単位数〕

経済学部 経済学科 専門教育科目					
区分		科目名	単位	備考	
学部必修		経済学入門	2		
		経営学入門	2		
		専門ゼミナールⅠ	2		
		専門ゼミナールⅡ	2		
		専門ゼミナールⅢ	2		
		専門ゼミナールⅣ	2		
		卒業研究	2		
学科必修		基礎専門ゼミナールⅠ	2		
		基礎専門ゼミナールⅡ	2		
		ミクロ経済学Ⅰ	2		
		ミクロ経済学Ⅱ	2		
		マクロ経済学Ⅰ	2		
		マクロ経済学Ⅱ	2		
学科選択必修	統計・経済理論系	経済数学Ⅰ	2		
		経済数学Ⅱ	2		
		経済統計学	2		
		計量経済学	2		
		応用計量経済学	2		
		経済データ分析	2		
		ミクロ経済学Ⅲ	2		
		ミクロ経済学Ⅳ	2		
		マクロ経済学Ⅲ	2		
		マクロ経済学Ⅳ	2		
		経済学史	2		
		現代資本主義論	2		
	経済政策・応用経済学系	政策	金融論	2	
			金融政策論	2	
			保険論	2	
			財政学	2	
			租税論	2	
			公共経済学	2	
			経済政策論Ⅰ	2	
			経済政策論Ⅱ	2	
			社会政策論	2	
			社会保障論	2	
			労働経済学	2	
			日本経済論	2	
		地域	都市政策論	2	
			都市経済学	2	
			地域政策論	2	
			地域経済学	2	
			環境経済学	2	
			地方財政論	2	
			地域創生論	2	
		国際	ヨーロッパ経済論	2	
			アメリカ経済論	2	
			アジア経済論	2	
			中国経済論	2	
			国際経済学Ⅰ	2	
国際経済学Ⅱ			2		
国際金融論			2		
歴史系	地域産業史	2			
	日本経済史	2			
	ヨーロッパ経済史	2			
	アメリカ経済史	2			
	アジア経済史	2			
学科選択	商学系	簿記原理Ⅰ	2		
		簿記原理Ⅱ	2		
	法学系	法律学概論	2		
		民法(総則・物権法)	2		
		民法(債権法)	2		
		商法	2		
		会社法	2		
		所得税法	2		
		法人税法	2		
		国際法	2		
	教職系	社会科・公民科教育法Ⅰ	2		
		社会科・公民科教育法Ⅱ	2		
		社会科・地歴科教育法Ⅰ	2		
		社会科・地歴科教育法Ⅱ	2		
		外国史概論Ⅰ	2		
		外国史概論Ⅱ	2		
		日本史概論Ⅰ	2		
		日本史概論Ⅱ	2		
学部選択	ビジネス基礎演習	2			
	海外社会実習	2			
	ビジネスイングリッシュⅠ	2			
	ビジネスイングリッシュⅡ	2			
	リサーチ・リテラシー	2			
	外書講読A	2			
	外書講読B	2			
	特殊講義Ⅰ	2			
	特殊講義Ⅱ	2			
	特殊講義Ⅲ	2			
	特殊講義Ⅳ	2			
他学科科目					
単位互換科目					

別表Ⅱ〔授業科目及び単位数〕

経済学部 経営学科 専門教育科目				
区分		科目名	単位	備考
学部必修		経営学入門	2	
		経済学入門	2	
		専門ゼミナールⅠ	2	
		専門ゼミナールⅡ	2	
		専門ゼミナールⅢ	2	
		専門ゼミナールⅣ	2	
		卒業研究	2	
学科必修		基礎専門ゼミナールⅠ	2	
		基礎専門ゼミナールⅡ	2	
		ビジネス概論	2	
		簿記原理Ⅰ	2	
		簿記原理Ⅱ	2	
学科選択必修	マネジメント系	マーケティング入門	2	
		マーケティング論	2	
		サービス・マーケティング	2	
		マーケティング・リサーチ	2	
		ブランド論	2	
		消費者行動論	2	
		広告論	2	
		製品開発論	2	
		流通論	2	
		地域経営論	2	
		ソーシャル・ビジネス論	2	
		ベンチャービジネス論	2	
		国際経営論	2	
		生産管理論	2	
		地域企業論	2	
		企業論	2	
		企業倫理	2	
		企業社会論	2	
		経営戦略論	2	
		経営管理論	2	
		経営組織論	2	
		人的資源管理論	2	
	会計系	上級簿記Ⅰ	2	
		上級簿記Ⅱ	2	
		簿記原理演習	2	
		上級簿記/工業簿記演習	2	
		会計学基礎	2	
		会計情報論	2	
		財務会計論	2	
		経営分析論	2	
		非営利組織会計	2	
		国際会計論	2	
		監査論	2	
		原価計算論	2	
		管理会計論	2	
		コーポレート・ファイナンス論	2	
		所得税法	2	
		法人税法	2	
	法学系	法律学概論	2	
		民法(総則・物権法)	2	
		民法(債権法)	2	
		商法	2	
		会社法	2	
		国際法	2	
学科選択	教職系	職業指導Ⅰ	2	
		職業指導Ⅱ	2	
		商業科教育法Ⅰ	2	
		商業科教育法Ⅱ	2	
	観光系	観光学基礎	2	
		ホスピタリティ論	2	
		観光事業論	2	
学部選択		ビジネス基礎演習	2	
		海外社会実習	2	
		ビジネスイングリッシュⅠ	2	
		ビジネスイングリッシュⅡ	2	
		リサーチ・リテラシー	2	
		外書講読A	2	
		外書講読B	2	
		特殊講義Ⅰ	2	
		特殊講義Ⅱ	2	
		特殊講義Ⅲ	2	
		特殊講義Ⅳ	2	
	他学科科目			
単位互換科目				

別表Ⅱ〔授業科目及び単位数〕

経済学部 地域システム学科 専門教育科目

区分		科目名	単位	備考	
学部必修		経済学入門	2		
		経営学入門	2		
		専門ゼミナールⅠ	2		
		専門ゼミナールⅡ	2		
		専門ゼミナールⅢ	2		
		専門ゼミナールⅣ	2		
		卒業研究	2		
学科必修		基礎専門ゼミナールⅠ	2		
		基礎専門ゼミナールⅡ	2		
		地域概論	2		
		地域経済入門	2		
		フィールドワーク基礎演習	2		
学科選択必修	地域経済・地域データ分析系	社会調査法	2		
		経済数学Ⅰ	2		
		経済数学Ⅱ	2		
		地域データ分析	2		
		ミクロ経済学Ⅰ	2		
		ミクロ経済学Ⅱ	2		
		マクロ経済学Ⅰ	2		
		マクロ経済学Ⅱ	2		
		地域経済分析入門	2		
		経済統計学	2		
		地域経済学	2		
		日本経済論	2		
		計量経済学	2		
		都市経済学	2		
		経済データ分析	2		
		環境経済学	2		
	公共政策系	法律学概論	2		
		政策形成概論	2		
		地域政策論	2		
		公共経済学	2		
		文化政策論	2		
		財政学	2		
		租税論	2		
		福祉政策論	2		
		地域労働政策	2		
		日本経済史	2		
		都市政策論	2		
		地方財政論	2		
		社会政策論	2		
		経済政策論Ⅰ	2		
		経済政策論Ⅱ	2		
		社会保障論	2		
	観光・地域経営系	地域貢献とボランティア	2		
		観光学基礎	2		
		ホスピタリティ論	2		
		観光実務演習Ⅰ	2		
		観光実務演習Ⅱ	2		
		地域経営論	2		
		地域産業史	2		
		ソーシャル・ビジネス論	2		
		観光メディア論	2		
		観光文化・社会論	2		
		地域創生論	2		
		地域企業論	2		
		観光政策論	2		
		観光まちづくり論	2		
		観光事業論	2		
		企業社会論	2		
学科選択	発展系	フィールドワーク応用演習a	2		
		フィールドワーク応用演習b	2		
		フィールドワーク応用演習c	2		
学部選択		ビジネス基礎演習	2		
		海外社会実習	2		
		ビジネスイングリッシュⅠ	2		
		ビジネスイングリッシュⅡ	2		
		リサーチ・リテラシー	2		
		外書講読A	2		
		外書講読B	2		
		特殊講義Ⅰ	2		
		特殊講義Ⅱ	2		
		特殊講義Ⅲ	2		
		特殊講義Ⅳ	2		
	他学科科目				
	単位互換科目				

別表Ⅱ（授業科目及び単位数）

人間科学部 スポーツ学科 専門教育科目

区分	科目名	単位	備考
学部必修	基礎ゼミナールⅠ	2	
	基礎ゼミナールⅡ	2	
	フィールド基礎演習	4	
	専門ゼミナール	4	
	卒業研究	2	
学科必修	人間科学の基礎理論	1	
	スポーツフィールド演習	4	
	スポーツ科学概論Ⅰ	1	
	スポーツ科学概論Ⅱ	1	
	スポーツ教育学Ⅰ	1	
スポーツ科学科目	スポーツ総合演習	2	
	基礎体力学	1	
	基礎体力演習	1	
	特別支援教育総論	2	
	運動学(運動方法学を含む)Ⅰ	1	
学科選択	スポーツ心理学Ⅰ	1	
	スポーツ生理学Ⅰ	1	
	スポーツバイオメカニクスⅠ	1	
	スポーツ実技(陸上)	1	
	スポーツ実技(水泳)	1	
学部必修	野外スポーツ演習Ⅱ	2	
	スポーツ教育学Ⅱ	1	
	野外スポーツ論	2	
	野外スポーツ演習Ⅰ	2	
	スポーツ史Ⅰ	1	
学科選択	スポーツ史Ⅱ	1	
	スポーツ人類学Ⅰ	1	
	スポーツ人類学Ⅱ	1	
	スポーツ指導者論	1	
	スポーツ指導者演習	1	
スポーツ科学科目	スポーツ指導法(陸上・トラック)	2	
	スポーツ指導法(陸上・フィールド)	2	
	スポーツ指導法(水泳)	2	
	スポーツ指導法(サッカー)	2	
	スポーツ指導法(バスケットボール)	2	
学科選択	スポーツ指導法(バレーボール)	2	
	スポーツ指導法(テニス)	2	
	スポーツ指導法(ベースボール)	2	
	スポーツ指導法(ダンス)	2	
	スポーツ指導法(武道)	2	
スポーツ科学科目	スポーツ実技(体操)	1	
	スポーツ実技(ゴール型)	1	
	スポーツ実技(ネット型)	1	
	スポーツ実技(ベースボール型・ターゲット型)	1	
	スポーツ実技(武道)	1	
学科選択	スポーツ実技(ダンス)	1	
	スポーツ心理学Ⅱ	1	
	スポーツ心理学演習	2	
	スポーツ生理学Ⅱ	1	
	スポーツ栄養学	2	
学部必修	トレーニング&コンディショニング論	2	
	ストレングストレーニング演習	2	
	測定評価	2	
	運動学(運動方法学を含む)Ⅱ	1	
	スポーツバイオメカニクスⅡ	1	
学科選択	運動処方学	2	
	運動処方演習Ⅰ	2	
	運動処方演習Ⅱ(健康運動指導士)	2	
	スポーツリサーチ演習Ⅰ	2	
	スポーツリサーチ演習Ⅱ	2	
スポーツ科学科目	スポーツ社会学Ⅰ	1	
	スポーツ社会学Ⅱ	1	
	スポーツマネジメント論Ⅰ	1	
	スポーツマネジメント論Ⅱ	1	
	スポーツマネジメント演習	2	
学科選択	スポーツビジネス論	2	
	地域スポーツマネジメント論	2	
	スポーツ実務演習(プロ・企業スポーツ)	2	
	スポーツ実務演習(地域スポーツクラブ)	2	
	ボランティア概論	2	
学部必修	アダプテッドスポーツ論Ⅰ	1	
	アダプテッドスポーツ論Ⅱ	1	
	アダプテッドスポーツ演習	2	
	運動指導法演習(幼児・高齢者・障害者)	2	
	生活習慣と健康	2	
学科選択	衛生・公衆衛生学Ⅰ	1	
	衛生・公衆衛生学Ⅱ	1	
	スポーツ医学論	2	
	スポーツ医学演習	2	
	スポーツ特殊講義Ⅰ	2	
スポーツ科学科目	スポーツ特殊講義Ⅱ	2	
	保健体育科教育法Ⅰ	2	
	保健体育科教育法Ⅱ	2	
	保健体育科教育法Ⅲ	2	
	保健体育科教育法Ⅳ	2	
学部必修	学校保健(救急処置を含む)	2	
	知的障害者の心理・生理・病理	2	
	肢体不自由者の心理・生理・病理	2	
	病弱者の心理・生理・病理	2	
	発達診断の理論と方法	2	
学科選択	知的障害者指導法	2	
	知的障害者の言語指導法	2	
	肢体不自由者指導法	2	
	病弱者指導法	2	
	発達障害者指導法	2	
スポーツ科学科目	視覚障害者教育総論(点字実習を含む)	2	
	聴覚障害者教育総論	2	
	重複障害・LD等教育総論	2	
	特別支援学校教育実習事前事後指導	2	
	特別支援学校教育実習	2	
他学科科目			
単位互換科目			

別表Ⅱ（授業科目及び単位数）

人間科学部 こども学科 専門教育科目				
区分	科目名	単位	備考	
学部必修	基礎ゼミナールⅠ	2		
	基礎ゼミナールⅡ	2		
	フィールド基礎演習	4		
	専門ゼミナール	4		
	卒業研究	2		
学科必修	人間科学の基礎理論	1		
こども学基礎理論	必修	こども学総論	1	
	選択必修	保育原理	2	
		教育学概論(初等)	2	
		こども家庭支援の心理学	2	
		こどもの保健	2	
		こども家庭福祉	2	
	国際教育	2		
	必修	器楽Ⅰ	2	
		創作アート	2	
		声楽Ⅰ	2	
		声楽Ⅱ	2	
		器楽Ⅱ	2	
		実践器楽	2	
スポーツ実技		1		
Let's Try ICT		2		
国語表現法		2		
English for Kids		2		
国際教育演習	2			
選択	こども特殊講義Ⅰ	2		
	こども特殊講義Ⅱ	2		
保育科学科目	学科選択	こどもと健康	1	
		こどもと人間関係	1	
		こどもと環境	1	
		こどもと言葉	1	
		こどもと音楽表現	1	
		こどもと造形表現	1	
		こどもと総合表現	2	
		保育内容総論	1	
		保育内容(健康)	2	
		保育内容(人間関係)	2	
		保育内容(環境)	2	
		保育内容(言葉)	2	
		保育内容(音楽表現)	2	
		保育内容(造形表現)	2	
		保育者論	2	
		保育・教育課程論	2	
		社会福祉論	2	
		社会的養護Ⅰ	2	
		社会的養護Ⅱ	1	
		こどもと心の発達	2	
		幼児理解の理論と方法Ⅰ	1	
		幼児理解の理論と方法Ⅱ	1	
		こどもの健康と安全Ⅰ	1	
		こどもの健康と安全Ⅱ	1	
		こどもの食と栄養	2	
		こども家庭支援論	2	
		子育て支援	1	
		乳児保育Ⅰ	2	
		乳児保育Ⅱ	1	
		乳児理解の理論と方法	1	
		特別支援保育論	2	
		保育方法Ⅰ	1	
		保育方法Ⅱ	1	
		保育方法Ⅲ	1	
		保育マネジメント論	2	
		教職実践演習(保育)	2	
		保育実習Ⅰ・事前事後の指導	2	
		保育実習Ⅰ(保育所)	2	
		保育実習Ⅰ(施設)	2	
		保育実習Ⅱ・事前事後の指導	1	
		保育実習Ⅱ	2	
		保育実習Ⅲ・事前事後の指導	1	
		保育実習Ⅲ	2	
		学校インターンシップ(保育)	1	
		幼児教育実習・事前事後の指導	2	
		幼児教育実習	2	
	教育科学科目	学科選択	国語科基礎(書写を含む)	1
			社会科基礎	1
			算数科基礎	1
			理科基礎	1
生活科基礎			1	
音楽科基礎			1	
図画工作科基礎			1	
家庭科基礎			1	
体育科基礎			1	
小学校英語基礎			1	
国語科教育法Ⅰ			2	
国語科教育法Ⅱ			1	
社会科教育法Ⅰ			2	
社会科教育法Ⅱ			1	
算数科教育法Ⅰ			2	
算数科教育法Ⅱ			1	
理科教育法Ⅰ			2	
理科教育法Ⅱ			1	
生活科教育法Ⅰ			2	
生活科教育法Ⅱ			1	
音楽科教育法Ⅰ			2	
音楽科教育法Ⅱ			1	
図画工作科教育法Ⅰ			2	
図画工作科教育法Ⅱ			1	
家庭科教育法Ⅰ			2	
家庭科教育法Ⅱ			1	
体育科教育法Ⅰ			2	
体育科教育法Ⅱ			1	
小学校英語教育法Ⅰ			2	
小学校英語教育法Ⅱ			1	
教職入門(初等)			1	
教育心理学(初等)			2	
生徒・進路指導論(初等)			2	
道徳教育の理論と方法(初等)			2	
教育相談の理論と方法Ⅰ(初等)	1			
教育相談の理論と方法Ⅱ(初等)	1			
教育社会学(初等)	1			
特別活動及び総合的な学習の時間の指導法(初等)	2			
教育課程論(初等)	2			
教育方法論Ⅰ(初等)	1			
教育方法論Ⅱ(初等)	1			
情報教育の理論と方法Ⅰ(初等)	1			
情報教育の理論と方法Ⅱ(初等)	1			
学級経営論	2			
特別支援教育(初等)	2			
教職実践演習(小学校)	2			
学校インターンシップ(小学校)	1			
初等教育実習・事前事後の指導	2			
初等教育実習	3			
他学科科目				
単位互換科目				

別表Ⅱ〔授業科目及び単位数〕

人文学部国際文化学科 専門教育科目

区分				学則科目名称 (日本語表記)	学則科目名称 (英語表記)	単 位 数	備 考
専門基礎科目	学部共通科目	必修	基礎科目	比較文化	Comparative Studies of Cultures	2	
				ワールドトピックス	World Topics	2	
				日本社会と文化	Japanese Society and Culture	2	
		選択必修	英語系	スピーキングスキルⅠ	Speaking SkillsⅠ	2	
				スピーキングスキルⅡ	Speaking SkillsⅡ	2	
				リスニングスキルⅠ	Listening SkillsⅠ	2	
				リスニングスキルⅡ	Listening SkillsⅡ	2	
				リーディングスキルⅠ	Reading SkillsⅠ	2	
				リーディングスキルⅡ	Reading SkillsⅡ	2	
				ライティングスキルⅠ	Writing SkillsⅠ	2	
				ライティングスキルⅡ	Writing SkillsⅡ	2	
				スピーキング&プレゼンテーションⅠ	Speaking and PresentationⅠ	2	
				ディスカッションⅠ	Discussion on Current EventsⅠ	2	
				リサーチライティングⅠ	Writing for ResearchⅠ	2	
				リーディング&ボキャブラリーⅠ	Reading and VocabularyⅠ	2	
			文化系	言語文化論A	Language and Culture A	2	
				言語文化論B	Language and Culture B	2	
				地域研究A	Area Studies A	2	
				地域研究B	Area Studies B	2	
				物質文化A	Material Cultures A	2	
		選択	英語系	スピーキング&プレゼンテーションⅡ	Speaking and PresentationⅡ	2	
				ディスカッションⅡ	Discussion on Current EventsⅡ	2	
				リサーチライティングⅡ	Writing for ResearchⅡ	2	
				リーディング&ボキャブラリーⅡ	Reading and VocabularyⅡ	2	
				英文法Ⅰ	Grammar in UseⅠ	2	
				英文法Ⅱ	Grammar in UseⅡ	2	
			演習系	海外留学Ⅰ	Study AbroadⅠ	2	
				海外留学Ⅱ	Study AbroadⅡ	2	
	専門発展科目	必修	専門ゼミナール	専門ゼミナールⅠ	Major Study SeminarⅠ	3	
				専門ゼミナールⅡ	Major Study SeminarⅡ	3	
				卒業研究	Graduation Research	2	
			基幹科目	多文化共生論	Studies on Multicultural Symbiosis	2	
				言語と文化	Aspects of Language and Culture	2	
				リサーチリテラシー	Research Literacy	2	
				アカデミックライティング	Academic Writing	2	
		選択必修	資格対策	TOEICⅠ	TOEICⅠ	1	
				TOEICⅡ	TOEICⅡ	1	
				TOEICⅢ	TOEICⅢ	2	
				TOEICⅣ	TOEICⅣ	2	
		選択	コア科目	ジャパニーズ・スタディーズ	Japanese Studies	2	
				グローバル化と地域文化	Globalization and Local Culture	2	
				ジェンダーと現代社会	Gender and Contemporary Society	2	
				観光文化論	Tourism and Culture	2	
				比較宗教論	Comparative Studies of Religions	2	
			宗教	宗教と文化Ⅰ	Religion and CultureⅠ	2	
				宗教と文化Ⅱ	Religion and CultureⅡ	2	
				キリスト教と文化	Christianity and Culture	2	
				イスラームと文化	Islam and Culture	2	
				仏教と文化	Buddhism and Culture	2	
			世界の諸地域	カルチャーズ・イン・ジャパン	Cultures in Japan	2	
				グローバル社会の観光	Tourism in Global Society	2	
				地域研究C	Area Studies C	2	
				地域研究D	Area Studies D	2	
				地域研究E	Area Studies E	2	
				グローバル・イシューズ	Global Issues	2	
				国際関係論	International Relations	2	
			文化の諸相	マイノリティと文化	Minorities and Culture	2	
				芸術と文化	Art and Culture	2	
				思想と文化	Thought and Culture	2	
				ジャーナリズム論	Journalism Studies	2	
				視覚メディア論	Visual Media Studies	2	
			観光・フィールド・演習Ⅰ	異文化コミュニケーション演習	Intercultural Communication Practice	2	
				物質文化B	Material Cultures B	2	
				観光まちづくり論	Tourism and Regional Studies	2	
				比較文化調査演習Ⅰ	Field Research PracticeⅠ	2	
				比較文化調査演習Ⅱ	Field Research PracticeⅡ	2	
				比較文化調査演習Ⅲ	Field Research PracticeⅢ	2	
	グローバルイングリッシュコース・発展科目	選択必修	コア科目	英語学概論	English Linguistics	2	
				実践英文法	Practical English Grammar	2	
				音声学	Phonetics	2	
				日英語比較	Comparative Study of English and Japanese	2	
		選択	応用系	英語学演習	Practice in English Linguistics	2	
				国際英語論	World Englishes and English as a Lingua Franca	2	
				異文化理解	Cross-Cultural Understanding	2	
				英文学	English Literature	2	
				第二言語習得	Second Language Acquisition	2	
			実践系	通訳ガイド	English for Tour Guide	2	
				会議通訳	Conference Interpreting	2	
				文芸翻訳	Literature and Arts Translation	2	
				ディベート	Debate	2	
				メディアイングリッシュ	Media English	2	
				フューチャースキルズプロジェクト	Future Skills Project	1	
				観光における英語	English in Tourism	2	
				ビジネスライティング	Writing for Business	2	
				実践ビジネススキル	Practical Business Skills	2	
				インターパーソナルコミュニケーションⅠ	Interpersonal CommunicationⅠ	2	
				インターパーソナルコミュニケーションⅡ	Interpersonal CommunicationⅡ	2	
				AI時代における英語	English in the Age of AI	2	
			教職専科	英語科教育法Ⅰ	English Teaching MethodologyⅠ	2	
				英語科教育法Ⅱ	English Teaching MethodologyⅡ	2	
				英語科教育法Ⅲ	English Teaching MethodologyⅢ	2	
				英語科教育法Ⅳ	English Teaching MethodologyⅣ	2	

※3年次より、学生は専門発展科目の2コース(比較文化・グローバルイングリッシュ)より、主となる専攻を選択することとなる。主として選択したコースを「主専攻」とし、もう一方を「副専攻」とする。

金沢星稜大学・金沢星稜大学女子短期大学部 「数理・データサイエンス・AI教育プログラム（リテラシーレベル）」取組概要

本学では2022年度より大学全学部および短期大学部の共通科目として「数理・データサイエンス・AIリテラシー」を開講しました。2023年度には文部科学省の「数理・データサイエンス・AI教育プログラム（リテラシーレベル）」の認定を受けました。開講科目は全学部の1年次を対象としており、本学のすべての学生が、学術的のみならず社会的にも活用できるデータサイエンスの知識を身に付け、問題解決のための手法や考え方を身につけることを目指しています。本教育プログラムを全学生が修了できるようにするために、開講科目はオンデマンド形式で実施しています。教育実践の具体的方法としても、対談形式の教材動画の配信や学生のコメントに対するフィードバックなど、受講生の学習意欲を喚起する工夫を取り組みを行っています。なお、2024年度からは科目名称を「MDASHリテラシーⅠ」および「MDASHリテラシーⅡ」へと変更しました。

2024年新生向け受講案内（新入生研修にて新入生全員に配布）

オンデマンド型授業の進行イメージ

①教材や資料はオンライン（dotCampusなど）で公開

授業の動画やスライド、確認テストなどがdotCampus上で配信されます。



②好きな時間、好きな場所で学ぶ

空き時間に自分のペースで学習が進められます。



③担当教員からのフォローアップ

学習内容に関する質問や進捗状況に応じたフォローアップを実施（オンライン上）

【履修者へのメッセージ】

この科目では、これからの社会で必要となる、データを読み解く力、説明する力、分析し活用する力を養うことができます。また、データを活用する際に用いるAIが社会でどのように使われているかの最新動向や活用されている分野についての知識を身に付けることができます。

オンデマンド型授業で行われるので、開講時期の期間内であれば、自分のペースで、何度でも反復して学習することができます。

新しいスキル修得のために、この科目の教材等を自身の理解度にあわせて繰り返し学びましょう！



数理・データサイエンス・AI教育プログラム認定制度

大学

（リテラシーレベル）について

社会人のための新しい必須スキルとして、数理・データサイエンス・AIの知識を仕事で使いこなすことが求められています。「MDASHリテラシーⅠ・Ⅱ」科目は、文部科学省の推奨する数理・データサイエンス・AIリテラシーの基礎的な素養を主体的に身に付けることを学習目標とした科目です。本学では、当該科目について、文部科学省「数理・データサイエンスAI教育プログラム認定制度（リテラシーレベル）」の認定を受けています。



【修了に必要な科目（単位）】

- ・MDASHリテラシーⅠ（1単位）
- ・MDASHリテラシーⅡ（1単位）

【授業実施方法：オンデマンド型授業】

（※授業イメージを参照）
オンデマンド型（非同期型）授業とは、動画教材や理解度テストなどを用いた授業形態です。指定された学習期間の中で、自分の空き時間に合わせて自由に進めることができます。

【開講時期】

前期：2024年4月9日（火）～
後期：2024年9月23日（月）～

【修了証明書の発行】

この科目を修得した学生に対して、「デジタル修了証明書」を発行します。今後の就職活動に役立ててください。

【履修方法】

＜2024年度入学生＞

- ・必修科目であり、すでに履修登録がなされています。
- ・プログラムを履修するための手続きは必要ありません。
- ＜2023年度以前生＞
- ・他の科目と同様に、履修チームに自身で履修登録してください。
- ・科目の統替等については、学びスタートアップを確認し、詳細は教務課に問い合わせください。

※オンデマンド型授業は「遠隔授業」として扱います。遠隔授業で取得した単位は、大学は60単位、短期大学部は30単位を上限として卒業に必要な単位とすることができます。（大学：学則第8条、短大：学則第10条）



数理・データサイエンス・AI教育プログラム認定制度

短大

（リテラシーレベル）について

社会人のための新しい必須スキルとして、数理・データサイエンス・AIの知識を仕事で使いこなすことが求められています。「MDASHリテラシーⅠ・Ⅱ」科目は、文部科学省の推奨する数理・データサイエンス・AIリテラシーの基礎的な素養を主体的に身に付けることを学習目標とした科目です。本学では、当該科目について、文部科学省「数理・データサイエンスAI教育プログラム認定制度（リテラシーレベル）」の認定を受けています。



【修了に必要な科目（単位）】

- ・MDASHリテラシーⅠ（1単位）
- ・MDASHリテラシーⅡ（1単位）

【授業実施方法：オンデマンド型授業】

（※授業イメージを参照）
オンデマンド型（非同期型）授業とは、動画教材や理解度テストなどを用いた授業形態です。指定された学習期間の中で、自分の空き時間に合わせて自由に進めることができます。

【開講時期】

前期：2024年4月9日（火）～
後期：2024年9月23日（月）～

【修了証明書の発行】

この科目を修得した学生に対して、「デジタル修了証明書」を発行します。今後の就職活動に役立ててください。

【履修方法】

- ・他の科目と同様に、履修チームに自身で履修登録してください。
- ・科目の統替等については、学びスタートアップを確認してください。

※オンデマンド型授業は「遠隔授業」として扱います。遠隔授業で取得した単位は、大学は60単位、短期大学部は30単位を上限として卒業に必要な単位とすることができます。（大学：学則第8条、短大：学則第10条）

